

東日本大震災 チャリティー箏コンサート

入場無料 (お志を募金箱にお願い致します)

和小物先着100名様にプレゼント 提供：アンティーク着物「壺」

＜ 第一部 ＞ 麻植美弥子ミニリサイタル

風の詩Ⅱ 余白の旅を求めて：伴谷晃二

十七絃箏／麻植美弥子

打楽器／宮本妥子

友情出演

宮本妥子 (打楽器)

阪口夕山 (尺八)

狂詩的ミューズ：吉崎克彦

箏／麻植美弥子

十七絃箏／麻植理恵子

尺八／阪口夕山

青渡絲韻 金属打楽器を伴う十七絃のための：中村典子

十七絃箏Ⅰ／麻植美弥子

十七絃箏Ⅱ／麻植理恵子

＜ 第二部 ＞ 美音の会と仲間達

かごめの主題による箏四重奏曲：吉崎克彦

じょんがら：宮田耕八朗

千鳥の曲：吉沢検校

かぐや姫：渡辺泰子

震災復興応援 麻植美弥子委嘱 ひとつになる：作詞作曲 近藤裕子

友情出演 メロディーキッズ・ピッコロ

みんなであたおう！

花は咲く 作詞 岩井俊二 作・編曲 菅野よう子

平成28年9月22日(祭)

場所： 草津市立 草津アミカホール (草津市役所横)

TEL077-561-6100 * 親子室あり

開場：13:30 開演：14:00

主催：草津市社会教育関係団体「美音の会」 / 後援：草津に美しい芸術文化を育む会
お問い合わせ：09037211087 麻植(おえ)まで

出演者プロフィール

麻植 美弥子 (おえ みやこ) / 箏、十七絃

京都市出身、滋賀県草津市在住。3歳より祖母大仲勝子の指導で箏を始める。吉崎克彦氏師事。NHK邦楽オーディション合格。長谷校校記念第2回全国邦楽コンクール優秀賞、平成10年平和堂財団芸術奨励賞、第22回京都芸術祭京都市長賞、第28回京都芸術祭芸術賞、他受賞歴多数。'04N響フルート奏者菅原潤氏とCD『Collaboration』リリース。国内外の作曲家作品初演やアーティストとのコラボ等、多彩な演奏活動をイタリア・フランス・韓国をはじめ国際的に展開。中島貞夫監督監修DVD「茶の湯」、舞台「六条御息所幻想」「横笛」に音楽で参加。NHKをはじめ、テレビ・ラジオ出演多数。ムジカA国際音楽協会常任理事。

宮本 妥子 (みやもと やすこ) / 打楽器 (友情出演)

同志社女子大学卒業後、ドイツフライブルク音楽大学にてドイツ国家演奏家資格首席取得。数々の国際コンクールで入賞、優勝。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団芸術奨励賞を受賞。これまで世界10カ国以上の現代音楽祭でソリストとして招待演奏するなど欧米各地で高い評価を得る。帰国後、(財)地域創造の公共ホール音楽活性化事業協力アーティストとして、全国各地でのアウトリーチやコンサートを行う。最近では若手音楽家育成プログラムのプロデュースを行い、後進の育成にも力を注ぐ。現在、石山高校音楽科、相愛大学非常勤講師、同志社女子大学嘱託講師。パール・アダムスモニターアーティスト。http://www.yasukomiyamoto.com/

阪口 夕山 (さかぐち ゆうざん) / 尺八 (友情出演)

1957年 大阪府豊中市生まれ。都山流尺八を中村希山氏に師事。普及尺八を三橋貴風氏に師事。NHK邦楽オーディション合格。第4回長谷校校全国邦楽コンクールにおいて尺八部門第1位優秀賞受賞。第7・8回同コンクールにおいて奨励賞受賞。2002年、日本音楽集団オーディションに合格・入団後、国内外で開催される同集団のコンサートや舞台演劇の場、また演歌歌手のバックバンドなどで活躍。また依頼演奏も数多く、どのジャンルの音楽にでも対応できる尺八奏者として、活動中。現在 日本音楽集団 団員、(公財)都山流尺八楽会竹琳軒大師範、貴風会会員 関西学院大学邦楽クラブ顧問

麻植 理恵子 (おえ りえこ) / 箏、十七絃

幼少より箏を母・麻植美弥子、現在深海さとみ氏に師事。滋賀大学教育学部卒業。(社)京都道会師匠。NHK邦楽オーディション合格。(財)滋賀県文化振興事業団「ザ・ファーストリアル2007」合格。第9回大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門第3位等受賞多数。第29回京都芸術祭音楽部門コミュニティ賞受賞。(財)ハン六文化振興財団第26回ハン六助成受賞。京都市姉妹都市交流促進特別表彰授与。国内外で演奏活動を行う。リサイタル開催多数。CD「十七絃箏 Rieko meets Aya」リリース。http://oekoto.web.fc2.com/

メロディーキッズ・ピッコロ (友情出演)

私たちはみんな、「歌うことが大好き！」幼稚園児から高校生までの子供たちが在籍し、合唱曲・ポップス・映画音楽・時には子ども達からのリクエストもあり、様々なジャンルの曲を歌っています。主に、地域に根ざした演奏活動を中心に行っていますが、自主演奏会も行い、その中ではミュージカルにも挑戦しています。いつもの練習風景は、楽しく温かく、笑顔の絶えない大家族のような…それが、メロディーキッズ・ピッコロです！

美音の会 (みねのかい)

草津市社会教育関係団体として、市内の幼、小、中学校において和楽器公演及び、地域協働校の活動にも関わり、通学合宿等でも箏の演奏・体験を行う。文化庁助成事業「伝統文化子ども箏教室」を開催。滋賀県文化祭奨励賞受賞



草津と宮城 二つの玉川中 遠くても歌でひとつに

草津と宮城の
二つの玉川中の
震災後の交流から
「ひとつになる」
が、うまれました。

遠くても
歌でひとつに

「ひとつになる」歌詞(抜粋)

川の流れがいつかは海にそそぐように
ぼくたちはひとつになれる
どうしようもなく迷ったときに
そっと声をかけてきた君を忘れない
同じ夢を見てる君がいるから
希望も悲しみもわけあえるのさ
どんなに離れていても心はひとつになる
ぼくたちはつながっているよ
どんなに苦しいときも君を忘れないよ
ぼくたちはひとつになる

震災後、交流「つながっているよ」

川の流れへとイメージを膨らませて言葉を選び、中学生に親してみようというふうにポップス調のメロディーにした。12日に玉川中の体育館であった式には、同校の生徒約400人や保護者らのほか、草津市の生徒代表2人や教員も参加。近藤さんの奏でるピアノの音色にあわせて、みんな伸びやかな歌声を響かせた。草津市立玉川中2年で生徒会長の門間龍さん(17)は「震災後から約5時間の旅の疲れも吹き飛んだ。震災で多くのものを失ったけれど、遠くへの仲間とつながりが持て、仲を深められたうれしさ」と笑顔を見せた。草津市立玉川中は今後も、ベルマーク集めなどを通じて被災地の復興支援に取り組むという。2年で生徒会長の荒川由乃さん(14)は「一緒に歌をうたわしかなかった。これから交流を深めていきたい」と話した。(八坂一平)

2011年の東日本大震災で、塩釜の玉川中は体育館が壊れるなどの被害を受けた。同じ校名の学校があること知った草津の玉川中の生徒が同年6月、募金などを送り、交流が始まった。以来、両校はビデオレターの交換などで友情を育んできた。昨夏には、草津の生徒の代表が塩釜を訪れ、友情の証として「玉川の絆」と題する文書に署名した。歌は、両校の交流を知った草津市在住の箏の演奏家、麻植美弥子さんが「生徒たちの交流に音楽でエールを送りたい」と、音楽仲間や石巻専修大(宮城県)の近藤裕子教授に曲の制作を依頼した。近藤教授は、昨年6月に草津を訪れるがてら構想を練って作詞作曲し、同12月に4分ほどの歌を仕上げた。生徒たちの交流から、海へ注ぐ

オリジナル曲、完成

「どんなに離れていても 心はひとつになる ぼくたちはつながっているよ」。東日本大震災をきっかけに交流を続けている宮城県塩釜市と草津市の二つの玉川中学校の生徒のためのオリジナルソング「ひとつになる」が完成し、草津市立玉川中で披露された。お披露目の式には塩釜市立玉川中の生徒らも駆けつけ、友情を確かめあった。



「ひとつになる」を歌う宮城県塩釜市立玉川中の生徒(前列右から1人目と3人目)と草津市立玉川中の生徒たち=12日、草津市立玉川中学校